

[成果情報名]アスパラガス有望品種「Grande」（スーパーウェルカム）の褐斑病および茎枯病の発病特性

[要約] アスパラガス品種「Grande」（スーパーウェルカム）の褐斑病および茎枯病に対する耐性は「UC157」（ウェルカム）と同等である。

[キーワード]アスパラガス、「Grande」、褐斑病、茎枯病

[担当]長崎県農林技術開発センター・環境研究部門・病害虫研究室

[連絡先]（代表）0957-26-3330

[区分]野菜

[分類]指導

[作成年度]2014 年度

[背景・ねらい]

西南暖地におけるアスパラガスの半促成長期どり栽培では、「Grande」（以下スーパーウェルカム）は慣行品種である「UC157」（以下ウェルカム）より多収であることが明らかになっている（陣野，2013）。本県では「スーパーウェルカム」を有望品種として選定し、生産技術の確立を図っているが、本品種の耐病性は不明である。そこで、アスパラガス主要病害である褐斑病および茎枯病について「ウェルカム」と比較し、本品種の発病特性を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. 「スーパーウェルカム」は褐斑病に対して「ウェルカム」と同等に罹病しやすく、一旦発生し始めると急激に発生が拡大する（図1）。
2. 茎枯病に対しては、病原菌接種による耐病性検定では「ウェルカム」と同等である（表1）。

[成果の活用面・留意点]

1. 「スーパーウェルカム」は、褐斑病および茎枯病に対して「ウェルカム」と同等に罹病しやすいので、栽培管理にあたっては十分な防除対策を講じる必要がある。
2. 茎枯病に対する圃場における自然発生条件下での発病特性については、今後明らかにする必要がある。

[具体的データ]

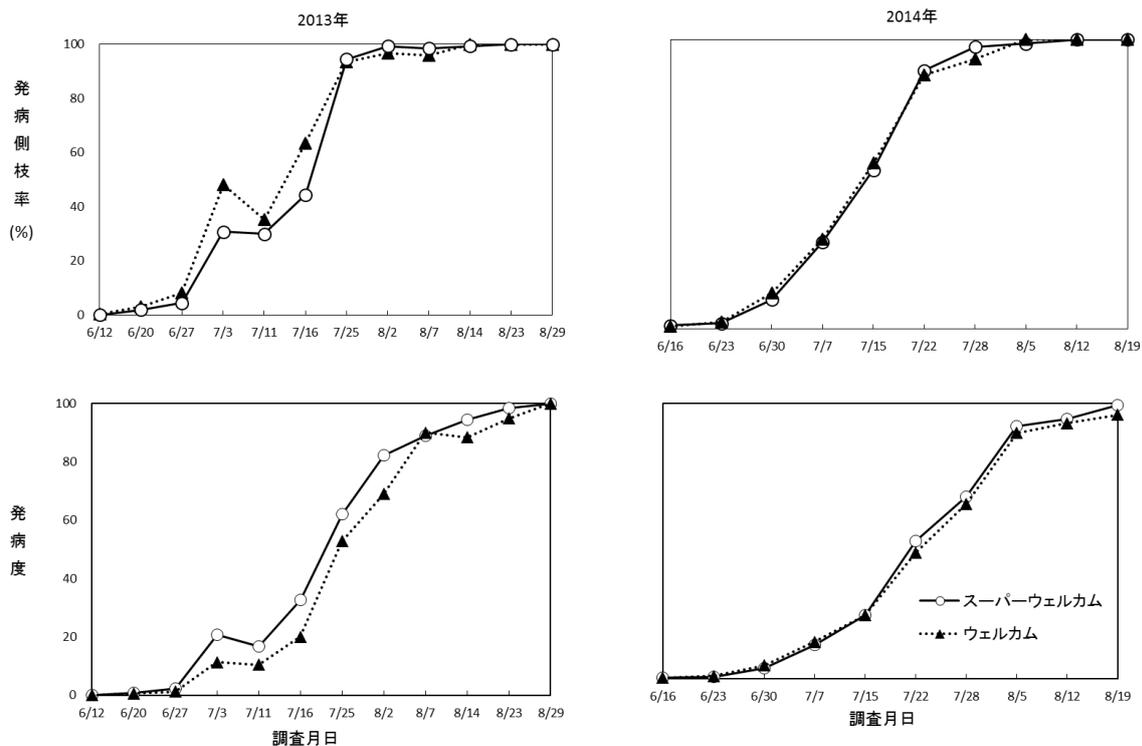


図1 アスパラガス2品種の褐斑病自然発生条件下における発病の推移
*2013年は2年生株、2014年は3年生株を用い、管理に際して殺菌剤は未使用である。

表1 アスパラガス2品種の茎枯病耐病性検定による発病比較

調査年	供試品種	供試 茎数	指数別発病茎数					発病茎率 (%)	発病度
			指数 0	指数 1	指数 2	指数 3	指数 4		
2013	スーパーウェルカム	58	7	2	12	8	29	87.9	71.6
	ウェルカム	60	8	3	10	16	23	86.7	67.9
u検定 ¹⁾									n.s.
2014	スーパーウェルカム	60	19	37	4	0	0	68.3	18.8
	ウェルカム	60	21	34	5	0	0	65.0	18.3
u検定 ¹⁾									n.s.

1) マンホイットニーのu検定を用いた。

*試験は園田らの方法(園田ら, 2003)に準じて行った。

※耕種概要

【供試株】2013年：2年生 2014年：3年生(1/5000ワグネルポット定植株)

【立茎開始】2013年：3月26日 2014年：4月1日

【接種】2013年：4月12日 2014年：4月14日

【調査】2013年：5月10日 2014年：5月12日(それぞれ接種28日後)

[その他]

研究課題名：アスパラガス有望品種の栽培技術確立

予算区分：県単

研究期間：2009～2014年度

研究担当者：森三紗・難波信行